

授業科目名 (英語表記)	政策過程論 (Policy Process)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	藤木 剛康		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1・2回 10月7日(木) 18:00～21:00	第5・6回 11月4日(木) 18:00～21:00	
	第3・4回 10月21日(木) 18:00～21:00	第7・8回 11月18日(木) 18:00～21:00	

【授業の概要・ねらい】

この講義・演習では、政策過程論の基本的なフレームワークを学んだうえで、参加院生が関心を持つ事例を選び、それらのフレームワークを用いて事例を分析し、どのようなプロセスを経て実際の政策が決まっているのか理解を深めることをめざす。関心のある事例について詳細に理解するだけでなく、むしろ、課題に対していかなる解決策が提起され、それら解決策や関係者の間にどのような政策対立が存在し、結果として「解決」に至ったのかを分析する。

【授業計画】

第1回	オリエンテーション	授業の進め方の説明
第2回	政策過程分析とは何か	政策過程論の学習
第3回	政策問題の構造とアクター①	政策過程論の学習
第4回	政策問題の構造とアクター②	政策過程論の学習
第5回	政策問題と利益・制度・アイデア①	政策過程論の学習
第6回	政策問題と利益・制度・アイデア②	政策過程論の学習
第7回	政策プレゼン	プレゼンテーションと質疑応答
第8回	政策プレゼン	プレゼンテーションと質疑応答

【到達目標】

政策過程論の分析枠組みを用いて、特定の政策を初歩的なレベルで分析できるようになること。

【成績評価の方法・基準】

毎回の提出課題(70%)と最終レポート(30%)で評価する。

【教科書】

秋吉貴雄他「公共政策学の基礎 第3版」(有斐閣)

【参考書・参考文献】

適宜指示します。

【履修上の注意・メッセージ】

最低何か1つ、具体的に関心があり、自ら調べられる政策の事例を考えておくこと。

【授業時間外学修についての指示】

授業計画に沿って、各回の予習と復習を行ってください。

第2回(10月7日)の課題：教科書の第2章を読み、あなたが関心を持っている政策事例について、「政策問題の複雑化」の4つの構成要素①全体性、②相反性、③主観性、④動態性がどのように当てはまるのか、あてはまらないのかを簡単にまとめておいてください。今の時点では、正確な答えを述べる必要はありません。今の時点でのあなたの考え・仮説を示せるようにしておいてください。